

宇部市旧宇部銀行館に係る年表

年	事 項
昭和 14 年 10 月	宇部銀行本店新築主体工事完了
昭和 19 年 3 月 31 日	一県一行主義により当時山口県内に本店を有していた大島・華浦・船城・百十の各行と合併し山口銀行が創立され、宇部銀行本店は山口銀行宇部支店となる
昭和 20 年	4 月～8 月にかけて 8 回の空襲を受け中心部の 6000 戸が焼失したが、山口銀行宇部支店は焼失を免れた。 (7 月には東新川支店が空襲により罹災、宇部支店内に移転している)
平成 18 年 12 月	山口銀行宇部支店が新築移転
平成 19 年 11 月	旧宇部銀行が「産炭地域の特性に応じた近代技術の導入など九州・山口の石炭産業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群」の一つとして、経済産業省より近代化産業遺産に認定される
平成 20 年 3 月 27 日	(株)山口銀行から、宇部市へ建物の寄附を受ける
平成 21 年 5 月 1 日	旧宇部銀行本店建物を景観重要建造物に指定する
平成 22 年 6 月 17 日	6 月定例議会において、第 1 期 指定管理者の指定の議決 (期間 平成 22 年 7 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)
平成 22 年 9 月 25 日	宇部市旧宇部銀行館「ヒストリア宇部」としてリニューアルオープン
平成 26 年 12 月 24 日	12 月定例議会において、第 2 期 指定管理者の指定の議決 (期間 平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで)

宇部市旧宇部銀行館（ヒストリア宇部 運営経緯）

H20.3.27 3月議会 宇部市旧宇部銀行館の建物保存の決定

H20.5.29～H21.5.15

旧宇部銀行活用検討委員会（計9回開催）

旧宇部銀行の活用を考える市民ワークショップ（計5回開催）

【活用の原則】

- ① 市民が自由に、気軽に使えること
- ② 多目的に使えること
- ③ 市民が自らの手で運営すること

【中心となる機能・役割】

- A. 市民が持つ様々な活動を表現・発表する
- B. 市民の様々な活動を表現・発表する
- C. 市民の活動を支援する
- D. 市民が集い、くつろぐ

主な
合意形成

H21.6.30～H22.8.4

旧宇部銀行運営検討委員会（計9回開催）

【施設運営の目的】

- ① 中心市街地の活性化
- ② 歴史的建築物をまちのシンボルとして再生

【施設運営の基本方針】

- ① 市民の交流と協働のまちづくりを推進する
- ② 宇部の近代化の歴史、環境への取り組みなど、宇部市の独自性を活かした情報を発信する
- ③ 文化・芸術を軸とした新しい「うべブランド」を創出・発信する

主な
合意形成

H21.12.25 12月議会 宇部市旧宇部銀行館条例の議決
(上記委員会で形成された、主な合意形成を基に設置目的や事業内容などについて、条例を制定)

H22.7.1 指定期間開始

H22.9.25 宇部市旧宇部銀行館「ヒストリア宇部」としてリニューアルオープン

H27.4.1 指定期間開始（第2期）
・指定期間終了 令和2年3月31日まで

R1.11.8 宇部市旧宇部銀行館活用事業に関するサウンディング型市場調査
・参加受付 令和元年11月8日～11月19日
・サウンディング実施 令和元年11月12日～11月26日

（検討）

ヒストリア宇部は、リニューアルオープンから10年目を向かえており、これまでに蓄積された実績に加え、民間事業者からの提案を基により良い施設の活用方法を検討するために、現在、サウンディング調査を実施しています。